

HAPPY NEW YEAR! 2026



走り出す想い

新しい一年へ

TFTは、2月に開催される「大阪マラソン2026」で、初のチャリティパートナーに選ばれました。大阪マラソンには、支援先団体の活動を伝え、共感した支援者から寄付を募る「チャリティランナー」という仕組みがあります。

今回は、TFTの想いに共感した21名のチャリティランナーが走ります。企業・団体からの参加も多く、企業が寄付に関わる費用を支えることで、社員の「走りたい」という想いが後押しされ、実際の一步につながりました。企業の応援を受けて走るランナーの存在は、社内外に「自分にもできる社会貢献」を考えるきっかけを生み、周囲へと自然に広がっていきます。

大阪マラソンを通じて生まれた一歩は、職場や地域での会話や新たな行動を生み出し、応援の輪を広げながら、チャリティの文化を少しずつ育てていきます。

参加企業さまからの声

社員が得意なことや好きなことを活かして社会課題に取り組む機会を応援できることは、企業としても意義深い取り組みです。

豊田通商 様

社員が自分の挑戦を通じて社会に貢献できる機会を大切にしながら、今後も社員の想いと企業の力を掛け合わせた活動を続けていきたいと考えています。

内海産業 様

チャリティランナーとしての参加を通じて、走る挑戦と応援する想いがひとつになり、クラブとしての一体感が生まれると感じています。

大阪リバーサイド
ロータリークラブ 様

社員がTFTの想いを背負って走ることで、社内外の方に継続した支援の大切さを伝え、社会貢献を自分ごととして考える機会になればと考えています。

オイシックス・ラ・大地 様

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、私は支援先のひとつであるケニアを視察しました。ケニアでの給食支援は、二〇二二年に一校・百七十二名から始まり、現在は九校・二千八百七十八名へと広がっています。卒業生へのインタビュでは、「給食が始まってから勉強に集中できるようになり、奨学金を得て高校に通えている。支援に感謝している」と語ってくれました。

視察の中で、道路を走る車の多くが日本車であることに気づき、私が日本から来たことを知った方々から「日本は良い国ですね」と声をかけていただく場面もありました。その体験から現地のTFTの活動が円滑に進んでいる背景には、日本企業の皆様が長年築いてこられた信頼の積み重ねがあるのだと実感し、深い感謝の思いを抱きました。

給食は、子どもたちの健やかな成長を支え、地域に希望を生み出す大切な投資です。二〇二六年も、世界の食の不均衡解消に向け、スタッフ一同、全力で取り組んでまいります。今後とも、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

TFT事務局長
土井 暁子



Quick Fact

累計支援給食数
(2025年11月時点)

1億1,588万5,402食

2025年11月のご寄付により
届けられる給食数(最新の集計)

42万2,643食